

1 糸島市の人口が102,000人を突破！

令和2年9月1日現在の人口が102,081人となり、『第一次糸島市長期総合計画（計画期間：平成23年度～令和2年度）』に掲げる令和2年度の目標人口102,000人を達成。（※主な達成要因としては以下のとおり）

■目標人口達成の主な要因

◎九州大学移転に伴う学生や教職員の移住・定住

- ・平成23年度：1,069人（学生940人、教職員129人）
↓（983人増）
- ・令和2年度：2,052人（学生1,604人、教職員448人）

◎『伊都の杜』への移住・定住（前原東土地区画整理事業）

- ・平成23年度：0人（※平成26年10月から入居開始）
↓（1,425人増）
- ・令和2年度：1,425人（4月1日現在）

◎外国人居住者の増加（※H27.7～外国人のデータ集計が可能となった）

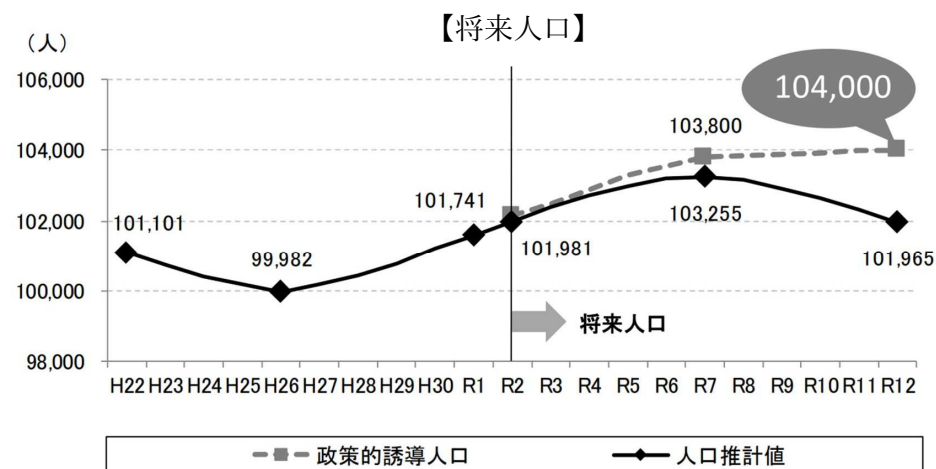
- ・平成24年度：571人（8月1日現在）
↓（671人増）
- ・令和2年度：1,242人（4月1日現在）

【その他】

◎平成25年度に移住・定住に関する専門部署を設置

（学研都市づくり課 定住促進係⇒現：ブランド学研都市推進課 定住学研都市係）

⇒本市への移住・定住への各種取組を推進。特にJR各駅を中心とした市街地への人口が増加。



■第二次糸島市長期総合計画における目標人口は『104,000人』

第二次糸島市長期総合計画（計画期間：令和3年度～令和12年度）においては、推計人口（平成28年から令和元年の住基人口を基準）に、新たな居住空間の整備や人口減少地域の対策、子育て支援などによる政策的誘導人口の増加を2,000人程度と見込み、目標人口を104,000人に設定した。

2 糸島カキを堪能 10月後半からカキ小屋がオープン！

毎年多くの人で賑わう糸島のカキ小屋。今年も10月24日の土曜日から一部のカキ小屋が開業予定となっており、その後、すべてのカキ小屋が順次開業していく。今年も、新型コロナウイルスの影響を鑑み、糸島漁協を中心に、各カキ小屋でコロナ対策を十分に検討した上で、オープンに向けて準備を進めている。

■年間入込客は増加傾向

近年の入込客数は年間で50～60万人程度。5年前（平成27年度：約40万人）と比較しても、約1.5倍となっている。

■カキ小屋の新型コロナウイルス対策

◎福岡県が実施する『感染防止宣言ステッカー』の掲示及び感染症への対策

⇒業種別ガイドライン（食堂・レストランなどの外食業）など、事業者が実施すべき感染防止対策をすべて実施することで取得。

◎『新しい生活様式に対応したカキ小屋の対応マニュアル』の徹底

⇒県水産海洋技術センター作成のマニュアルに沿った感染防止対策を徹底。

【具体的な対策】

- 来場者への来店時の体温計測、手指の消毒、マスク着用の徹底
- 来場者名簿への記入及び接触確認アプリ『COCOA』のインストール依頼
⇒名簿は、来場者が代表者氏名、人数、携帯番号を記入した後、事業者が案内時刻及びテーブル番号を記載するなど。
- カキ小屋内の換気（常時）、テーブル間の間仕切り、電子決済の利用など



感染防止宣言ステッカー



昨年5月に地域団体商標に登録された『糸島カキ』

【参考】新たな取り組み

対策のための取り組みとして、『LINE』を活用した非接触型の注文方法の導入を検討中。

注文の際、自身のスマートフォンを利用して注文することで、特別な道具を準備することなく、また、対面による注文が不要となる。